

日本応用地質学会
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

第 13 回議事録

平成 22 年 10 月 14 日

1. 日 時：平成 22 年 10 月 12 日（火） 13:00～17:00
2. 場 所：応用地質学会事務局
3. 出席者：平野、遠藤、小熊、久野、桑原、小島、都築、堀川、山本、江口（敬称略）
計 10 名
4. 資 料：
 - ・議事次第
 - ・資料 13-1 委員名簿（10 月 11 日時点修正版）
 - ・資料 13-2 第 12 回議事録（案）
 - ・資料 13-3-1 平成 22 年第 4 回研究企画委員会メモ
 - ・資料 13-3-1' 現場技術者のための岩盤の地質調査と評価の最新技術（仮称）
出版に関する基本方針（案）
 - ・資料 13-3-2 第 2 回 設立 50 周年記念出版 編集委員会《第二期》
（設立 50 周年記念行事特別委員会との合同拡大委員会）議事録（案）
 - ・資料 13-3-3 応用地質学－基本・技術・実用－ 小分類ごとの進捗状況（再見直し案）
 - ・資料 13-4-1 技術書 最新目次ページ数（10 月 2 日版）
 - ・資料 13-4-1' 編集案（10 月 12 日幹事意見）
 - ・資料 13-4-2 編集・出版 WG 第 1 回議事録（案）
 - ・資料 13-4-3 編集・出版 WG 第 2 回議事録（案）
 - ・資料 13-4-4 編集・出版 WG 第 3 回議事録（案）
 - ・資料 13-4-5 編集・出版 WG 第 4 回議事録（案）
 - ・資料 13-4-6 第 6 章修正案
 - ・資料 13-4-7 本技術解説書の考え方の確認と当面の作業計画（案）
 - ・資料 13-5 著作権許諾について
 - ・資料 13-6 工程案（10 月 12 日版）
5. 議 事：
 - 5-1 委員名簿の確認
村上委員および山本委員の名簿に変更があった。
 - 5-2 前回議事録の確認
内容については了承された。

5-3 今後の作業内容について

技術書作成にあたり、技術書の編集方針や今後の作業内容、工程等について議論した。議論の内容結果は以下の通り。

- ・編集方針としては、これ以上の岩盤分類や地質工学寄りの編集を行わず、現在の文章量、コンセプトを維持する。
- ・表題、フォント、文献番号の形式を早急に整える。作業は幹事が行う。
- ・形式が整った原稿に対し、用語や言い回しを統一するための用語リストを作成し、リストに基づいて表現の修正を行う。この作業も幹事が行う。
- ・原稿の各項の最後に著者名を記載する。第1期の文章が生きている場合は、第1期で担当したWG名、委員名も記載する（この段階を一次修正原稿と定義する）。
- ・一次修正原稿が完成した段階で一度委員に配布し、内容の確認を行う。
- ・一次修正原稿完成後、若者向けに表現を改める作業を行う。この作業は修正案を委員長、幹事で作成し、各委員に修正作業を依頼する（この段階を二次修正原稿と定義する）。
- ・二次修正原稿完成後、委員長、幹事、桑原委員の3人で全体調整、推敲を行う（この段階を三次修正原稿と定義する）。
- ・学会内査読の手続きを開始する。11月24日の研究企画委員会でスケジュール案、候補者案、修正原稿を提出する。なお、スケジュール案、候補者案は幹事で作成し、委員にメールで確認を取る。
- ・第12章は、現時点では少数の事例紹介のみであるため、内容の充実を図るための意見交換会（メール審議）を行う。具体的には、第12章で挙がっている項目について委員に他の事例や分類の発展性等についての意見を募り、それをまとめて文章化する。
- ・技術書のタイトルについてはメール審議を行う。
- ・出版形態について、DVD書籍での出版の可能性を確認する。具体的には出版社にDVD書籍で出版する場合の価格や条件を確認し、その結果をメール審議にかける。
- ・著作権許諾作業については、学会内査読後に行う。
- ・作業工程については、来年10月頃の刊行と講習会開催を目標とし、来年5月いっぱいまでの原稿完成（学会内査読後の修正の完了）を目指すこととする。工程案は幹事が作成する。

5-4 次回以降の開催等について

- ・当面は第12章の内容、技術書のタイトル、出版形態についてメール審議を実施する。

以 上